

提案書評価基準

1 評価事項

表1 基本的評価事項

	評価の視点	配点	評価点					
			A社	B社	C社	D社	...	
業務実施体制 (140点)	管理技術者	①実績内容	30					
		②手持ち業務量	10					
		③技術資格・経験	20					
	照査技術者	④技術資格・経験	20					
	主たる担当技術者	⑤実績内容	30					
		⑥手持ち業務量	10					
	担当技術者含む	⑦技術資格・経験	20					
業務実施方針等 (45点×10人 =450点)	⑧業務及び工程計画	15×10人						
	⑨景観・維持管理等に配慮したデザインについて	10×10人						
	⑩工期、施工方法等を配慮した設計について	10×10人						
	⑪総合的なコストについて	10×10人						
その他 (10点×10人 =100点)	⑫取組意欲	5×10人						
	⑬理解度	5×10人						
評価の合計 (690点)		690						

2 評価方法

(1) 「業務実施体制 (様式9~11)」に関する評価 (①~⑦)

ア 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行う。

イ 評価は各項目5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とする。

例えば、③の場合、評価がAであれば、 $20 \times 5 / 5 = 20$ 点

評価がBであれば、 $20 \times 3 / 5 = 12$ 点

評価がCであれば、 $20 \times 0 / 5 = 0$ 点

ウ 但し、①~⑥について評価項目が評価Cに該当すると原則欠格となり、特定しない。

エ 類似業務とは、以下の業務とする。

平成21年度以降に完了した業務で、鉄道または軌道調査設計業務のうち、応募者が本業務と類似する実績と判断するもの。最新の実績を優先する。

オ 予定技術者の技術資格及び配置

管理技術者 : 技術士（建設部門：「鉄道」）、技術士（建設部門：「総合技術監理」）

照査技術者 : 技術士（建設部門：「鉄道」）、技術士（建設部門：「道路」）

主たる担当技術者含む担当技術者 : 技術士（建設部門：「鉄道」）、技術士（建設部門：「道路」）、技術士（建設部門：都市及び地方計画）、一級建築士

※主たる担当技術者含む担当技術者の保有資格について、一人の担当技術者が複数の資格を保有していた場合でも、申請は1種類のみとし、1種類で計上

※主たる担当技術者含む担当技術者の保有資格について、複数の担当技術者が同じ資格を保有していた場合、保有資格は1種類で計上

カ 手持ち業務量

管理技術者 : 公告日において、技術者として携わる業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）

主たる担当技術者 : 公告日において、技術者として携わる業務が10件未満かつ契約金額合計4億円未満（本業務を含まず、特定後未契約のものを含む）

(2) 「業務の実施方針等（様式12～15）」に関する評価（⑧～⑪）

ア 各評価項目について、◎、○、□、△、▲の5段階評価を行うことを標準とする。

イ 評価は各項目10点満点とし、◎=10点、○=8点、□=5点、△=2点、▲=0点とする。

例えば、⑧の場合、評価が◎であれば、 $15 \times 10 / 10 = 15$ 点

評価が○であれば、 $15 \times 8 / 10 = 12$ 点

評価が□であれば、 $15 \times 5 / 10 = 7.5$ 点

評価が△であれば、 $15 \times 2 / 10 = 3$ 点

評価が▲であれば、 $15 \times 0 / 10 = 0$ 点

ウ 評価の考え方

◎：優れた提案内容となっている

○：かなり掘り下げた内容となっている

□：標準的な提案内容となっている

△：もう少し掘り下げた検討が必要と思われる

▲：設計者の取り組み意欲が感じられない

(3) 「その他」に関する評価（⑫、⑬）

ア 各評価項目について、A、B、Cの3段階評価を行う。

イ 評価は5点満点とし、A=5点、B=3点、C=0点とする。

(4) 各評価項目の評価の視点は表2のとおり。

表2 評価の視点

	評価の着目点	評価			
		A	B	C	
業務実施体制	管理技術者	①過去 10 年間の類似業務の実績 (評価 C は欠格)	本業務と類似する高度な実績がある(5 件以上)	A C に該当しない	類似する実績がない
		②手持ち業務量(本業務を含まず、 特定後未契約のものを含む) (評価 C は欠格)	手持ち業務が 10 件未満かつ 契約金額合計 4 億円未満	—	手持ち業務量が 10 件以上 または契約金額合計 4 億円以上
		③技術資格の有無 (評価 C は欠格)	技術士(建設部門:「総合技術 監理」)及び技術士(建設 部門:「鉄道」)を保有する	技術士(建設部門:「 鉄道」)を保有する	保有していない
	照査技術者	④技術資格の有無 (評価 C は欠格)	技術士(建設部門:「 道路」)及び技術士(建設 部門:「鉄道」)を保有する	技術士(建設部門:「 鉄道」)を保有する	保有していない
	主たる担当技術者	⑤過去 10 年間の類似業務の実績 (評価 C は欠格)	本業務と類似する高度な実績がある(5 件以上)	A C に該当しない	類似する実績がない
		⑥手持ち業務量(本業務を含まず、 特定後未契約のものを含む) (評価 C は欠格)	手持ち業務が 10 件未満かつ 契約金額合計 4 億円未満	—	手持ち業務量が 10 件以上 または契約金額合計 4 億円以上
	含む主たる担当技術者 担当技術者	⑦技術資格の有無	2 (1) オに指定する資格を 3 種類以上保有している	2 (1) オに指定する資格を 1 または 2 種類保有している	保有していない
	業務実施方針等	⑧全体計画の策定に向けて、必要な作業内容が具体的に整理され、 妥当な工程計画となっているか	<ul style="list-style-type: none"> ・周辺の地域特性が把握できている。 ・跡地利用計画による地域への影響が的確に捉えられている。 ・実施予定期間内に終わられる工程となっている。 ・実施予定期間より早く終わられる工程となっている。 		

業務実施方針等	⑨景観や維持管理等に配慮したデザインについて独創性、実現性の高い提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性の高い具体的な提案がある。 ・実現性の高い具体的な提案がある。 ・中量軌道導入予定ルートの特徴を把握し、景観や維持管理等に関して具体的な提案がある。 		
	⑩工期、施工方法等を配慮した設計について独創性、実現性の高い提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性の高い具体的な提案がある。 ・実現性の高い具体的な提案がある。 ・中量軌道導入予定ルートの特徴等を把握し、配慮事項について、具体的な整理がされている。 		
	⑪総合的なコストに関する事項について独創性、実現性の高い提案がなされているか	<ul style="list-style-type: none"> ・独創性の高い具体的な提案がある。 ・実現性の高い具体的な提案がある。 ・中量軌道導入予定ルートの特徴等を把握し、総合的なコストに関して具体的な提案がされている。 		
その他	⑫企業・担当者の取組意欲があるか	強い意欲が認められる	A Cに該当しない	意欲が認められない
	⑬業務の内容を的確に把握・理解しているか	特に優れている	A Cに該当しない	妥当でない